

令和元年度 英語学習実施状況について

金沢市立米丸小学校

①小学6年生 英語学習意識調査（令和元年度12月実施）（%）

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	14.4	33.9	25.4	26.3	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	60.2	29.7	2.5	6.8	0.8
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	26.3	55.1	7.6	11.0	0.0
問4	英語の授業がわかる。	24.6	44.1	16.9	13.6	0.8
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	22.0	30.5	28.8	15.3	3.4
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	16.9	36.4	28.8	15.3	2.5
問7	アルファベットの大文字が書ける。	75.4	14.4	5.1	2.5	2.5
問8	アルファベットの小文字が書ける。	70.3	16.1	6.8	4.2	2.5
問9	副読本「Sounds Good Jump」の文を見て、書き写すことができる。	52.5	23.7	8.5	11.9	3.4
問10	副読本の本文を声に出して読むことができる。	23.7	29.7	23.7	18.6	4.2

②来年度に向けての指導改善の具体策（令和元年度2月実施「英語教育に関する報告書」より）

- ・昨年度に引き続き、内容を推測しながら会話を聞き、答える問題の正答率が低い。毎時間の導入において「聞く活動」を重視する。習得させたいと思っている表現をHRTやETが意図的に使うだけでなく、会話の中で未習表現も交えながら十分に聞かせる。
- ・内容を推測させながら聞かせる中で、会話内容についてペアやグループで交流させることで、内容理解をさらに深める。

③学校関係者評価

児童は、英語の学習が大切であると感じているようであるが、「好きだ」と答える割合がとても低いようだ。書くことより、話すことの方が苦手意識が高いようである。英語の学習が楽しいと感じることが意欲を高め、苦手なことへ挑戦したり、より高いものにしようとする努力したりすることにつながると思う。英語専科が導入されたということなので、児童の意欲や学力の向上のために、専門性の高い指導を期待したい。